

環境への影響があるのか



環境への影響ってどんなことを調べているのかしら？

A!

散布された農薬は農作物だけではなく、大気、土壌、川などにも広がっていきます。例えば、土の表面に落ちたものは地中にしみ込んだり、水に溶けて川の水を汚染することがあります。そのため、これらの影響について調べられています。



1. 土壌中の微生物への影響

土壌中の微生物の中には農薬を分解する能力を持ったものがあります。適正な量の農薬の使用であれば、これらの微生物が死滅してしまうことはなく、仮に減少しても一定期間で回復すると報告されています。

2. 土壌中の蓄積

散布された農薬の大部分は地上に落下しますが、土に落ちた農薬は光や、土壌中の微生物により分解され消失していきます。連続して農薬を使用した場合でも、土壌中の農薬量が無限に増えていくことはなく、一定のレベルに落ち着くことがわかっています。また、長期間分解されないものは農薬として登録されません。

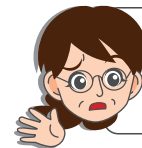
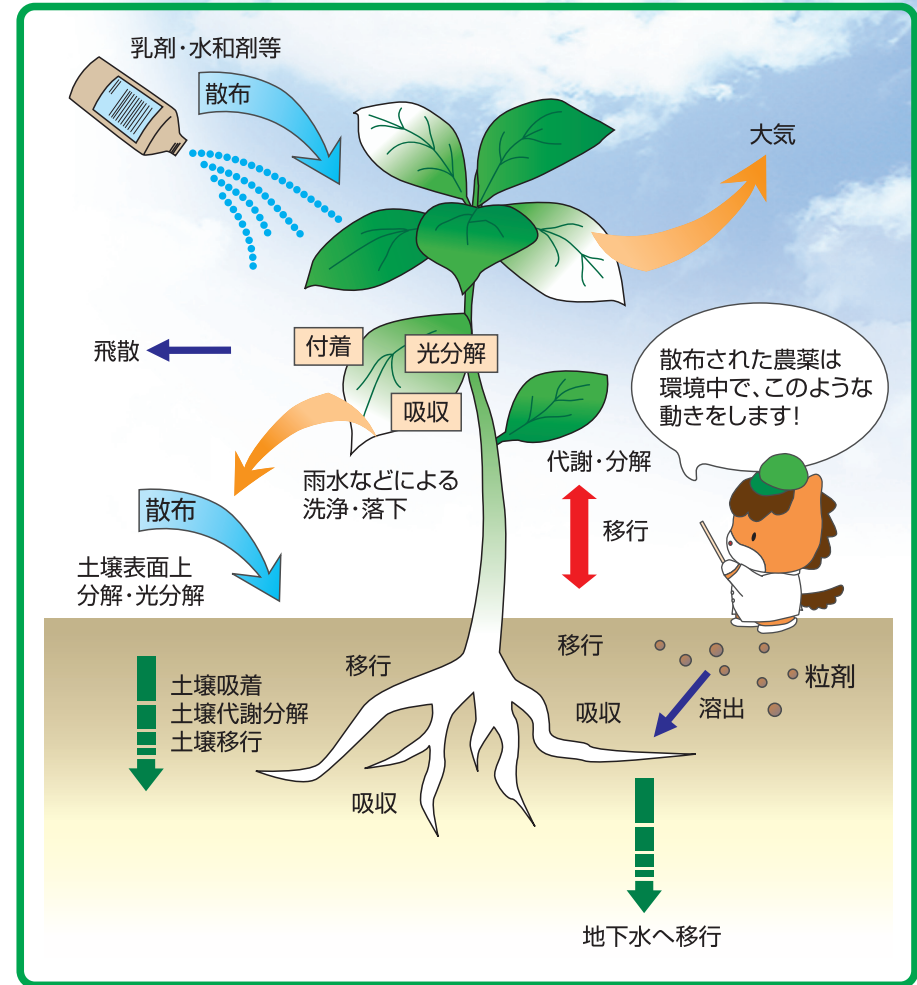
3. 水産動植物への影響

各農薬について、コイやミジンコなどを使って魚毒性の強さが調べられています。その魚毒性の強さによって、使用できる場所が決められています。

4. 公共用水への影響

農薬により公共用水が悪影響を受けないように、水田の水に含まれる農薬について調べられています。この濃度が一定基準を超える場合は、農薬として登録されません。

このような調査に基づき、それぞれの農薬の使用基準や使用方法が定められています。



農薬が環境を汚染していないわけないでしょ。だから、特別栽培や有機栽培が行われているんだわ。

用語解説

- 魚毒性 …… 魚介類に対する毒性のことをいいます。
- 乳剤・水和剤・粒剤等 …… 農薬は、農薬の有効成分を農作物にむらなく付着させ効力を十分発揮させたり、取り扱いやすくするため、有効成分を各種の補助剤などで希釈して製品化し、市販されています。